

あったかいがいいね

シャローム横浜通信 9月号

2021年(令和3年) 9月号(第253号)



感謝の想い

ひぐらしの声に涼味を覚えるころとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
この夏で76回目の終戦記念日を迎えました。日頃の会話の中で、ご利用者からは戦時中のことなど、多くのことを教えていただく機会がありますが、その度に平和について考えさせられています。

先日、あるご利用者がシャローム横浜で亡くなられました。この方はシャロームのデイサービスを20年以上ご利用され、多くの職員から愛された存在でした。ご利用者は生まれながらに障害を持っておられたため、幼い頃よりご家族が介護していました。ご両親が亡くなられてからは、障害者施設にて生活していましたが、30年ほど前より妹様のご本人を引き取られ、一人で在宅介護を続けてこられました。

ご本人はシャロームが大好きで、毎日デイサービスに行くことをとても楽しみにしていました。ご家族が本人にわざと「今日はお休みする？」と聞いてみると、「行く」と返事をして一度も休まず通い続けていました。また、食べるのが大好

きで、特にお刺身やお寿司、甘いケーキ等には目が無く、面会の度に持参されたケーキを食べては「おいしかった」と満面の笑顔で話されていたのが印象的でした。

この家族は「あのより先に死ねない」と口癖のように話されていたが、お別れ会の時は「私はこの人のことを長い間お世話してきました。でも実は私の方がこの人から色々な事を沢山教えてもらいました。本当に感謝しています」としみじみ話されていました。

その方の人生をありのまま受け、その思いを共感できること。これは家族だからできたことかもしれません。私たちが職員が本来目指すべき姿だと感じています。

私たちは毎日大勢のご利用者に対してケアを提供していますが、個々のご利用者に対して真摯に向き合うことで、自分自身も成長していることを忘れずに、感謝をもって歩んでいきたいと思えます。

施設長 高原 信夫



特養3F



様々な方の協力もあり納涼祭を無事に開催する事ができました。また今年はベランダからではありましたが、ご家族の方にも参加していただきました。猛暑の中、納涼祭へのご参加ありがとうございました。
特養3階主任 山中重男

第253号
令和3年8月15日発行
(毎月1回15日発行)

責任者：施設長 高原信夫
〒241-0802
横浜市旭区上川井町
1988
アドベンチスト福祉会
シャローム横浜

編集委員
遠藤・加藤・溝口
☎045-922-7333

<https://www.adventist-welfare.jp/yokohama/>



ケアマネジメント シャローム横浜

早いもので開設から7カ月が経過致しました。

当初の目標は、お客様に寄添える、そんなケアマネージャーでありたいとの思いが強かったですが、現在は寄添うだけでなく、将来に対して安心感が持てる、そんなケアマネージャーを目指しています。

今後も皆様のご指導ご鞭撻を真摯に受け止め向上してまいります。

飯田竜一郎



夏を乗り越える さっぱりトマトのレシピ



材料 2人前

トマト 2個

玉葱 1/2個 スライス又は粗みじん

パセリ 少々 オリーブオイル 少々

すし酢 敵量 塩、 少々

作り方

トマトを輪切りにして6等分して、皿に平らに並べる。玉ねぎをトマトの上のせて、すし酢、オリーブオイル、塩をかけ冷蔵庫で30分冷やしパセリのみじん切りを散らして出来上がり。

栄養課 小寺秀偉

納涼祭



今年はフロアごとに納涼祭を開催しました。

ご家族様にはベランダから参加していただきました。

「地域の、地域による、地域のための福祉を目指して」 第161回 チャプレン 上前至

聖書に「信仰の父」といわれるアブラハムと言う人物の名前が描かれている。その謙虚で柔和な、しかし、強い勇気のある人物は当時の全ての族長達からも尊敬されていた。その事から、以来、欧米では、その名にあやかって多くの人達はその名をつけている。その中でも最も有名な人物は米国第16代大統領になった Abraham Lincoln (エイブラハム・リンカーン) であろう。彼が何故米国史上、今でも尊敬されている大統領になったのか？

それは彼の「奴隷解放宣言」で米国から奴隷制度をなくし、その戦争であった南北戦争をリードし、それを支持する北軍を勝利に導いた指導者としての業績が賞賛されているからである。彼の有名なゲチスバーグでの演説「人民の、人民による、人民のための政治」は米国の民主主義を確立した演説として余りにも有名な演説として知られている。しかし、その彼の信条、生き方を築き、育てた原動力はどこにあったか。それ

については余り知られていないが、それは、彼を育ててくれた二番目の母の影響があったということである。その敬虔な信仰を持つ母親から聖書の思想を学び、また、学校にいけなかった彼に文字を教え、学ぶことの大切さを教えてくれたその母親の存在なくして後の彼はない。その幼少期の聖書の教えがどんなに大切なことかをリンカーンの人生が教えている。自己を忘れ、他の救いのために生きる。それはやがて本人にも還ってくるのである。私共の福祉も、「ために生きる」福祉会でありたい。「物惜しみしない者は富み、人を潤す者は自分も潤される」。箴言11:25

